

福岡市長
高島宗一郎 殿

2015年8月13日
核戦争に反対する医師の会
代表世話人 中川 武夫
代表世話人 原 和人
代表世話人 飯田 哲夫

福岡市－「戦争展」後援拒否理由は事実誤認にもとづくもの 「戦争展」への名義後援拒否理由の撤回を求めます

私たち核戦争に反対する医師の会（略称：反核医師の会）は、医師、歯科医師・医学者としての立場から、国際法にも違反する非人道的兵器である核兵器の廃絶を求めることに重点をおいて運動している会です。

このたび、福岡市による「平和のための戦争展ふくおか」への名義後援拒否問題についての高島宗一郎福岡市長による記者会見（8/6）及び地元マスコミの報道では、福岡市が名義後援を拒否した理由の一つとして、当会のHP掲載内容が問題であったとされています。

一連の報道によると、マスコミ報道によると福岡市総務課が「戦争展で記念講演を企画した福岡県反核医師の会について、14年11月に福岡市内であった集会のサイトを見たところ、元朝日新聞記者の講演で「安倍首相が用いている『積極的平和主義』というスローガンは戦争行使のためのものである」といった表現があった。」ことが上げられています。

当会は、名義後援申請当事者ではありませんが、福岡市の一連の対応と報道から当会の設立趣旨、活動内容を誤認させ、社会的地位を著しく損ないかねず看過できないものと判断しました。

下記の理由により福岡市による「平和のための戦争展ふくおか」への名義後援拒否理由としてマスコミで報道されている理由のうち、当会に係る理由は事実誤認であり、速やかに撤回し、広く周知することを求めます。

なお、本要望書はマスコミ各社に送付したことを付記します。

記

理由①「名義後援を依頼した主催団体と当会が同一であると誤認している」

当会と「戦争展」で記念講演を企画した福岡県反核医師の会は別団体です。また、当会は、名義後援の当事者団体ではございません。

理由②「『14年11月に福岡市内の集会』とは当会が主催したもの」

福岡市が問題であると指摘した当会 HP での「福岡市内の集会」とは、「第 25 回反核医師・医学者のつどい」のことです。このイベントは、反核医師の会が主催し、核兵器廃絶を目的に、毎年全国の医師・歯科医師・医学者らが集い学習・交流するものであり、広島市、長崎市などの自治体や、地元マスコミ各社から名義後援を得ているもので、福岡県反核医師の会が主催したものではありません。

理由③「当会 HP への掲載内容は、過去イベントでの講演録の掲示したものに過ぎない」

福岡市から指摘された当会 HP の掲載箇所は、第 25 回反核医師・医学者のつどいで講演いただいた演者の講演概要を記したものであり、当会の見解・主張を直接的に述べたものではありません。この講演は、当会が「憲法を活かす・地球を守る」をテーマで時局講演を依頼し、その講演内容を HP に掲載したものです。また、名義後援の申請用紙には、主催団体の規約等の提出が求められますが、福岡市の指摘した理由により名義後援が拒否されるとすれば、当会の活動を誤認させ他の自治体における名義後援審査の際にも著しい不利益が生じる可能性があると考えます。

しかも、「戦争展」では、演者がまったく異なっており、福岡市の指摘は事実誤認を超越したものと疑わざるを得ません。

理由④「行政側の審査手続きに瑕疵」

「戦争展」は、当会の主催イベントではありません。これらを当事者に一切確認せず、HP を閲覧しただけで名義後援の拒否理由と認定したとするならば、行政側の審査や事務手続きに瑕疵があると指摘せざるを得ません。

理由⑤「福岡市長の記者会見は行政ルールの逸脱」

8 月 6 日の高島宗一郎市長が記者会見で「行政のルールに従った判断であり、問題ない」と述べたことが報道されています。（産経新聞 8 / 7）

後援すべき主催団体の確認がされておらず、団体性を問題としたのか、講演演者の発言を問題視したのが不明確なまま名義後援拒否と判断したことに対して説明責任が果たされているとは言えません。申請当事者団体ではありませんが、「行政のルートを逸脱した誤った認識に基づく判断であり問題」と言わざるを得ません。

以上